

2025 年度 競技・ハンディキャップ委員会

日時：2025 年 11 月 1 日（土曜日）

出席者：競技・ハンディキャップ委員 於シャトレゼ CC 野辺山

○島田委員長、大森副委員長、浅川委員、飯沼委員、遠田委員、大畠委員、塩野委員、杉原委員、河野委員、吹春委員、和井田委員（11 名）、事務局 1 名

◆競技委員会

1：2026 年度競技会日程について 別紙の通り開催する。

2：競技規則の改定について

月例競技会・マスターズの 70 歳以上の使用ティーの説明部分に『※当年度（4 月 1 日から 3 月 31 日）に』を付け加え、『※当年度（4 月 1 日から 3 月 31 日）に 70 歳以上の参加者～』とする

3：月例競技会に新設されたシニアマスタークラスの部の開催について

土曜日のマスターズに出場し、日曜日に連日の参加をされる方が少なかった。

2026 年度は廃止にする。

4：その他競技会運営について

1) 距離計の使用について

高低差を図る機能の使用を正式に許可とする。

2) 月例競技会の青ティー・ゴールドティーの位置

青：全ホール見直す。

※距離のあるホールなど、もっとレギュラーティーに近づける。（前に出す）

ゴールド：全ホール見直す。

※16H に関してはレギュラーティーのあるティーグラウンドへ移動。

5：コース内の変更点について

コースの景観・プレーの進行を改善することを目的に以下の内容を変更する。

1)〔2H〕グリーン前の枯れてしまった白樺の代わりに木を植樹する。

⇒重機が入れない場所の為、最大限大きな木を業者様に依頼して植樹。

2)〔4H〕グリーン奥の白杭の幅が広すぎて OB が理解しにくいので杭を増やす。

⇒白杭を増設する。

- 3)〔7H〕FW 中間辺り右側の植え込み、ボールがロストしやすいので撤去。
⇒植え込みを撤去すると石垣が崩れる恐れがある為、石垣も合わせて撤去の必要がある。
来期実施の方向で検討。
- 4)〔7H〕選手権・月例競技会においては7Hに限りFWの乗入検討。
⇒来年度より実施。
- 5)〔8H〕池の周りに設置してある木の囲いが朽ちてきているので修繕。
⇒池がFWへ侵食していかない為の木の柵になるので、池の水を抜いての大規模な修繕となる。来期実施の方向で検討。
- 6)〔10H〕FWの陥没箇所の修繕。
⇒オフシーズンに対応し、芝が付くまでは修理地とする。
- 7)〔12H〕池の周りの白杭と赤杭が並んで設置されている部分は、赤杭に統一。
⇒赤杭に変更する。
- 8)〔13H〕右の池、OB杭を少し前にして池の周りにネットを設置、ボールの位置を分かりやすくする。(池に入ったか入っていないかを分かりやすくする)
⇒来期実施。
- 9)〔17H〕レディースティーの左側 1本だけある白杭を抜く
⇒法面の刈込ができないため現状はOBとして囲っている内の1本。OBエリアの範囲を狭めて、プレーに支障がありそうな場所を黄杭に変更する。
- 10)〔17H〕グリーン右側の法面、白杭2本だけ下がっているので他の杭のラインまで上げる。
⇒法面に苔が生えており、滑りやすく刈込作業が危険な場所。現状維持。
- 11)各ホールが目砂用の砂の入れ物に吸い殻を捨てる人が多いので、注意喚起の看板を設置する。
⇒来期実施。
- 12)コース内の危険個所の点検をもう一度お願いしたい。(大きい排水マス・6Hのマンホールの蓋 など)

以上